

豊中市地域包括支援センター外部評価表

○仕様書[4] 業務内容 ア) 介護予防ケアマネジメント業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>介護予防ケアマネジメント業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</u></p> <p><input type="checkbox"/> リハビリ専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 自立支援や介護予防の意義を理解し、地域包括支援センター主体で開催するのではなく、地域住民の意志で、地域住民主体の活動が拡充につながっていきます。</p> <p>内容： ・全校区で地域住民に対し自立支援、介護予防の意義が浸透するよう意識的に「地域教室」を行いました。地域教室ではアンケート結果に基づいてテーマの選定を行い地域住民が学びたいことに焦点を当て実施しています。また、明治安田等の企業が行っている講座を使うことで、マンネリ化を払拭し、学びたいという意欲につながることが出来ました。</p> <p>・おしゃべりの会ふくわらい（オレンジカフェ） 住民主体でのんびりと楽しくおしゃべりをする「おしゃべりの会ふくわらい」を継続的に開催し、認知症予防や介護予防につながられるよう取り組んでいます。</p> <p>・コミュニティぼっちゃ ほっと愛カフェの利用者から「ボッチャがやりたい。」との声を受け数回</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域の企業や新たな社会資源を巻き込んだ、活動の場の拡充を展開されています。従前よりある集いの場に機能を付加することで、活動の幅と内容の拡充につながられています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域教室では、参加されている市民にアンケートを実施し、市民が興味をもち、やってみたいと思える活動内容の拡充に取り組まれています。</p> <p>【課題】</p> <p>アンケート等を踏まえた市民主体の活動が行われていますが、意向を踏まえた内容を、市民主体の動きに変革して行かれることに期待します。</p>

令和6年度 緑地地域包括支援センター

		<p>の協議の結果、住民主体の「コミュニティぼっちゃ」を立ち上げました。ボッチャをすることで介護予防、また幅広い年代の方の集える場として開催しています。</p>	
		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・住民主体を促すための理解を得ることが課題です。・マンネリ化を防ぐための取り組みの発案、継続が課題です。	
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・声が聞けるように地域住民との信頼関係を築いていきます。・地域住民と協議を重ね、覚書を作成し住民主体で行う基盤を作成しました。	

令和6年度 緑地地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 イ) 総合相談支援及び権利擁護業務について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>総合相談支援及び権利擁護業務（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 予防的アプローチと地域づくりに取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取り組みを実施している。</u></p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自分らしい生活の安定を目指したアプローチを実践につなげます。 ・複合課題ケースに対応するために多機関との顔の見える関係を構築につなげていきます。 <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3職種の強みを活かしながら、毎朝及び緊急時にミーティングを開き、全職員がケースの把握を行っています。 ・緑地障害者相談支援センターと共に「多機関連携交流会グリーンメイトの会」を3回（2月以降にあと1回開催予定）開催しました。緑地圏域の医療や介護、福祉に携わる専門職約80名が集まり、複合課題ケース検討やテーマにちなんだフリートークにて意見交換を行いました。多職種多機関の方との交流を通して、重層的支援体制につながる顔の見える関係性の構築に寄与しました。 ・地域包括支援センター内で多職種によるOJTを利用し、困難ケースの振り返りを行いました。担当者がどこで迷い、何で支援が困難になったかを職員全員で意見を交わし、知見を高めました。 	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域包括支援センター内多職種による事例の振り返り、OJTを行い、次のケースのチームアプローチへとつなげられています。圏域内外の多職種、社会資源を幅広くあつめた会合を通し、事例の共有や意見交換を通して、連携できる下地作りに取り組まれています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域包括支援センター内、圏域内外の多職種会合いずれでも、具体的な事例や課題を基に取り組むことで、他人事ではなく、自分事として参加者が認識できる内容となるよう取り組まれています。また、福祉関連以外の社会資源の多角的な参加にもつなげられています。</p>

令和6年度 緑地地域包括支援センター

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数を重ねることで多機関連携交流会における開催場所の確保や開催方法が難しくなっています。 ・他市他地域包括支援センター圏域を越えての連携も課題です。 	<p>【課題】</p> <p>多職種会合の規模が大きくなってきていることから、継続して開催可能で、かつ参加者の意欲や参加意義が失われていくことがないような工夫の拡充に期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所との連携を図りつつ、他圏域との連携を実施していきます。 ・多職種参加のケースカンファレンスを重ねることで、地域包括支援センターの役割を確認しながらスキルの向上につなげていきます。 	

令和6年度 緑地地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、<u>地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</u></p> <p><input type="checkbox"/>地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 介護支援専門員等への後方支援の実践、その実践のためのネットワークの構築を図ります。</p> <p>内容： ・主任介護支援専門員を中心とした「かささぎ会」を継続し、専門職の日ごろの悩みや疑問点、スキルアップにつながる助言等の意見交換の場として年4回（3月にあと1回開催予定）開催しました。 ・服部包括との共催で介護支援専門員に向けた「服部・緑地ケアカフェ」を年5回（1月以降に2回開催予定）開催しました。テーマを権利擁護（成年後見・虐待）、新人介護支援専門員向け研修・交流会、ヤングケアラー・生活困窮・障害者支援サービスとして開催し、それぞれ介護支援専門員の業務において関係することが多いテーマを学ぶことで、知識の研鑽を図ることが出来ました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>主任介護支援専門員の意見交換の場を、定期的に設けられています。介護支援専門員の勉強会を開催し、介護支援専門員の資質向上につなげられるよう取り組まれています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>介護支援専門員からの意見を基に、勉強会の内容や、優先順位を考慮されており、介護支援専門員が興味ある、参加したい会となるよう図られています。</p> <p>【課題】</p> <p>介護支援専門員の勉強会の振り返り、成果や理解度等を明確化していくことによ</p>

令和6年度 緑地地域包括支援センター

		<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員が学びたい等スキルアップに必要な内容の把握が難しいです。 ・介護支援専門員同士のネットワーク定着化があり新たな関係性の構築が難しいです。 ・一人介護支援専門員事業所の参加が課題です。 	<p>て、課題の可視化にもつなげられていくかと思われます。</p>
<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員の悩みや疑問点を気軽に出せる環境づくり取り組みます。 ・話し合った課題を可視化し、SNS等で発信の場を作ることでさらなる周知を図っていきます。 			

令和6年度 緑地地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 エ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多様な地域活動や通いの場等と連携し、介護予防ネットワークの構築を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/>体力測定会において短期集中サービス終了後のセルフケアの定着を推進しつつ、地域資源につなげるなど高齢者の社会参加を促す取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 地域住民、専門職とともに介護予防や認知症予防、暮らしの中で困っていることの情報共有によって、介護予防ネットワークの拡充を図ります。</p> <p>内容： ・地域の専門職（事業所）が地域住民からのニーズに対応するために出来たネットワーク「チーム緑地弥栄パッピーくらぶ」、「高川ふらっとクラブ」にて介護予防や認知症予防に取り組み、健康で穏やかに住み慣れた地域で生活していけるためのネットワークとして活動しています。 ・全校区で、なんでも相談、ローラー作戦、サロン、民生委員定例会などへの関わり、商業施設や金融機関を含めた多くの関係機関との連携から、潜在的な対象者に対する介護予防へとつながりました。 ・服部緑地公園プロジェクト 3月に緑地公園で介護予防と認知症予防のイベントを開催する予定です。民生委員や校区福祉委員、地域の専門職、キャラバンメイト連絡会、スターバックスコーヒーといった民間企業と協力して実施します。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域のネットワーク活動を通して、介護予防につなげていける取組みの場となっています。地域の社会資源や多職種と協働で、介護予防等につなげる取組みが予定されています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>全校区で、ローラー作戦や、民生委員・地域の社会資源との関わりから、潜在的対象者を介護予防ネットワークに取り込んでいく活動が展開されています。</p> <p>【課題】</p> <p>既存のネットワークの枠を超えた、取組みの拡充に期待します。</p>

令和6年度 緑地地域包括支援センター

		【課題】 ・各々の会の参加住民の固定化、集客方法の工夫、地域住民への周知広報が課題です。	
		【改善の方策と次年度の取組み】 ・掲示方法の工夫、法人や新たに開設される豊中市の SNS を使った発信により普及啓発を行います。	

令和6年度 緑地地域包括支援センター

○仕様書[4] 業務内容 オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <u>地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推</u></p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェを立ち上げ、認知症当事者やその家族、地域住民の集いの拠点とすることによって、認知症当事者や家族等の生活の安定を図っていきます。 <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっと愛カフェ（オレンジカフェ） <p>カフェスタイルに変更し、認知症の人や地域住民がゆっくりとしたコミュニケーションができる場となりました。また、認知症に関する相談の場となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東寺内では坂道が多く認知症の方の集える場が少なかったため、千里山病院でのオレンジカフェを立ち上げるため協議を重ね、「千里山カフェ（オレンジカフェ）」をオープンすることが出来ました。東寺内の認知症予防の拠点として引き続き開催していきます。 	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>オレンジカフェの継続した開催と、新規の開設が行われています。年代を問わず、認知症啓発を展開することによって、認知症当事者や家族等が生活しやすい環境整備に取り組まれています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>医療機関での開催では、医療面での情報提供等も行われており、参加者も知識の拡充につながる内容が好評です。</p> <p>【課題】</p> <p>予防の早い段階、認知症が進行していく初期の段階での認知症の家族等に対する、情報提供や啓発、オレンジカフェへの参加拡充に期</p>

令和6年度 緑地地域包括支援センター

	進している。	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の人に認知症について知ってもらう機会作りが難しいです。 ・教育機関等との連携や認知症の理解促進が課題です。 	待します。
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジャーと一緒に取り組んでいきたいです。 ・住民主体のオレンジカフェの立ち上げ、運営を行って行きます。 ・寺内小学校以外の小学校や幼稚園、中学校等での認知症サポーター養成講座や福祉用具体験会開催のため教育機関との連携や情報提供を継続していきます。 	